

東海テレビ放送

社長記者会見

【発表資料】

◆日時 平成23年3月9日（水）

【来期について】

【番組】

<スーパーニュース放送枠拡大・エリア最強の情報ステーションに！>

番組名：「スーパーニュース」

放送時間：毎週月～金 午後4時51分～7時00分

放送エリア：ローカル放送

放送形式：スタジオ+VTR

(内容)

この4月「スーパーニュース」は満を持して夕方4時51分スタートに！“変わる”をキーワードに、さらにパワーアップします。

スタート時間はこれまでより39分早く、放送時間は2時間9分にワイド化。これにより直前に発生した事件・事故などをより早く視聴者の皆様にお届けできる速報体制が可能になりました。内容面では全国&東海地方のニュースはもちろん、地域密着度をさらに高めた生活情報やエンタメ情報などのコーナーを新設します。またキャスター陣も一新。“新しい”スーパーニュースをお伝えします！

「スーパーニュースを見れば“今”が全て分かる」と納得して頂ける夕方のフラッグシップ番組を目指します。

番組の“顔”が変わる！

新たなメインキャスターには東海テレビアナウンサーの庄野俊哉（しょうの としや）、関根和歌香（せきね わかこ）を起用します。メインキャスターの庄野はかつて「ぴーかんテレビ」の司会として視聴者から親しまれたベテランアナです。もちろんニュースの取材経験も豊富で、安定した語り口と説得力のあるコメントで視聴者の信頼感を得られるものと確信しています。

また、若手実力派アナの関根は週末夕方ニュースでメインキャスターとして活躍中。抜群のアナウンス技術と親しみやすい人柄で、コンビを組む庄野とともにスタジオを盛り上げ視聴者に地域密着の“今”をお伝えします。

そしてお天気キャスターは人気も定着している菊池真以（きくち まい）が引き続き担当します。天気情報もこれまで以上に力を入れます。あすのお天気をキメ細かく伝えるだけでなく、菊池本人が街に飛び出しその時々“季節感”をお伝えします。

“5時台”が変わる！

ワイド化するスーパーニュースは新設の5時台に注目。番組冒頭でその日の最新ニュースをテンポ良くきっちりとお伝えします。しかし、そのあとは情報のウイングをぐっと広げ、新たにエンタメ情報や地域密着の生活情報コーナーが登場します。例えば、このエリアの有名シェフを訪ね、旬の食材を利用した簡単レシピを紹介する「なっとく“旬”食」。行列を辿った先にある話題やお得情報を紹介する「その行列の先には…」。また、今はやりのモノをいち早く体験リポートする「新“タイケン”」（いずれも仮称）などなど…。生活情報にプラスαの納得感・お得感を加え充実したラインナップを取りそろえます。

この時間帯は主婦にとっては夕食の準備などで慌ただしいとき…ニュース、エンタメ、生活情報をテンポよく紹介、“ながら族”にもしっかりと情報をお届けします！

“6時台”も変わる！

スーパーニュースはこれまで「直球勝負」と銘打って、激動の愛知県政・名古屋市政、社会を映し出す事件・事故、災害報道などを“本格派ニュース”としてお伝えしてきました。午後6時台はこれまでの「直球」にさらなる磨きをかけたうえで、球種を増やし変化球も決め球に。例えば野菜をはじめとした食品やガソリン価格の高騰など家計に関わる“生活感あるニュース”をさらに充実。また、身近な疑問や質問を視聴者に代わってリポーターが解決する「なるほど！ベストアンサー」（仮称）など、より視聴者の目線に立った暮らしに直結するニュース・話題もお届けします。緩急を織り交ぜた多彩なラインナップにご期待ください。

全国ニュースも変わる！

スーパーニュースの特徴の1つはフジテレビスタジオから伝えるFNNの全国ニュースと東海テレビがお届けするローカルニュースが上手くミックスされている番組編成。この特徴をさらに進化させ、春からは6時台後半にもう一度フジテレビスタジオからその日の全国ニュースをダイジェストなどでお伝えします。ニュース番組がワイド化する中、ニュースは知りたいけど長時間は見られない忙しい主婦、あるいは帰宅直後のサラリーマンにもちょうどいい全国ニュースダイジェストです。

新しく生まれ変わる「スーパーニュース」にご期待ください。

【新規事業】

＜アニメ・キャラクター事業に参入＞

東海テレビはアニメ制作会社のDLE、キングレコード、グッズ企画販売のムービックと、共同製作委員会方式によるキャラクター・ビジネスに本格進出します。

当社初となるソーシャルメディアとの完全連動番組です。毎週4夜連続で新作アニメを放送し、フェイスブックやツイッターでファンとコミュニケーションをとりながら、アニメやキャラクターを開発し、新たな収益獲得をめざします。

今回制作するキャラクター・アニメのタイトルは「夜のキャラスタジオ」(仮)。同じ中学出身の仲間たちが、「同じけども、違う」、「違うけども、同じ」というコンセプトで、シニカルな会話の展開の中に、クスッと笑えるストーリーを目指します。放送するだけでなくインターネットなどでプロモーションし、キャラクターを徹底的に売り込み、広告・販促とのタイアップ、DVD、動画・音楽配信、グッズ、ゲームなどの商業利用化を展開し、収益を獲得する仕組みです。

フェイスブック連動

フェイスブックでは、ファンページ（フェイスブックページ）を立ち上げ、放送したアニメを次々にアップしていきます。

ページに訪れたファンは、「夜のキャラスタジオ」(仮)メンバーになることができ、すべてのアニメ動画を「いいね！」ボタンで評価できます。また、アニメに登場したキャラクターも「いいね！」ボタンで投票し、人気度を測っていきます。

ファンページでは、ファンからのコメントも残せます。アニメの反応や学生時代の面白ネタを投稿することも可能です。特に面白い話は、アニメ制作に反映させることも検討していきます。また、スタッフからの情報発信でもこのページを使い、番組PRや今後の展開などをファンにお知らせします。

文化祭やスポーツ大会、部活など学生時代のイベントを仮想展開したり、ファン同士で実際に実施することも検討しています。

今後、この番組では、面白い、新しいアニメを次々と放送し、魅力のあるキャラクターを登場させて、人気のあるものに育てていきます。アニメ・キャラクターに人気が出れば、フェイスブック上でのゲームアプリやデジタルコンテンツを開発することも可能となります。

将来的には、アジアやヨーロッパなど海外展開も視野に、事業を進めていきたいと思っています。

ツイッター連動

番組スタッフのツイッター以外にも、独特な個性を発揮する各々のキャラクターたちがつぶやくことも考えています。キャラクター自身が放送告知したり、放送後の反省をつぶやくこともありそうです。ツイッターがきっかけとなり、フェイスブックや番組と連動して、テレビでもネットでも盛り上げるつもりです。

「ニコニコモンズ」を使って、アニメで遊ぶ

このプロジェクトでは、動画配信サイトにもアニメを次々にアップしていきますが、中でも、自由にセリフをつけたり、編集して別作品を作ることができるよう、アニメを「ニコニコモンズ」に提供し、動画そのもので自由に遊んでもらって共有していただきます。アニメやキャラクターの支持拡大をめざします。

(参 考)

*フェイスブック

映画でも話題になったアメリカ発のソーシャルネットワークサービス（SNS）。全世界で6億人が使っているとみられ、最近日本でも会員数が日々伸びている。現在国内会員は300万人を超えていると言われている。実名での登録が特徴。動画との親和性が高く、メディアからも注目されている。

*  いいね！ ボタン

フェイスブックの特徴的なツール。コンテンツを支持するユーザーに押しってもらう。押した数が自動的にカウントされる。ネット上での人気投票ツール。

番組名：「夜のキャラスタジオ」(仮)

放送日時：2011年5月スタート 毎週月～木 深夜0時35分～放送予定

コンテンツ：新規オリジナルのフラッシュアニメ

アニメ制作：DLE

脚本：新海岳人(しんかい・たけと 会話劇アニメ作家 愛知県出身)

アニメ：JUN OSON(じゅん・おそん イラストレーター・キャラクタークリエイター 愛知県出身)



<SKE48とコラボ「モウソウ刑事！」のマルチユースのビジネス展開>

- ・公式フォトブック
- ・オリジナルグッズ (i p h o n e ケース、クリアファイル、携帯クリーナー、マフラータオル、生写真セット)
- ・DVD 第1巻、第2巻を4月、5月と連続で発売

<「ぴーかんテレビ」「山崎製パン」コラボ第2弾の展開>

＜映画事業第2弾 「青空どろぼう」映画化決定＞

ドキュメンタリー番組「記録人 澤井余志郎～四日市公害の半世紀～」を劇場用に再構成、今年6月から順次、東京（ポレポレ東中野）、名古屋（名古屋シネマテーク）、大阪（第七藝術劇場）など全国で上映予定。

（参 考）

番 組 名：記録人 澤井余志郎～四日市公害の半世紀～

放 送 日：2010年11月7日（日）午後4時30分～5時30分放送

放送エリア：ローカル放送

出 演：ナレーション：宮本信子（東宝芸能）

澤井余志郎、野田之一、田中俊行（四日市市長）

リポ ー ト：鈴木祐司

（内 容）

川を挟んだ対岸にコンビナートの煙突が林立する。海岸に残された小さな浜で老人は子供たちに四日市公害について語る…。澤井余志郎さん82歳。高度経済成長期に石油コンビナートの排煙でぜんそく患者や死者を出した「四日市公害」。その発生当初から、患者の様子を写真と文字で記録し続けてきた。40年を超える活動で、発行した文集は60冊を超える。日本の四大公害の1つ「四日市ぜんそく」…。今年、その公害訴訟の判決から38年が経つ。しかし、「公害はまだ終わっていない。青い空ときれいな海は戻っていない…」澤井さんが、今も公害の記録を続ける理由だ。「四日市公害裁判」は、公害病認定制度の法制化のきっかけになった裁判である。

原告の一人、野田之一さん78歳。公害発生源の四日市コンビナートすぐ横の磯津漁港で3代続く漁師。「伊勢湾一の漁師になりたい」という幼い頃からの夢だった。頑丈な体が自慢だったが、働き盛り34歳、ぜんそくに蝕まれ漁に出られなくなった。今も発作がある。勝訴した時、野田さんは支援者の前で「ありがとうとは言うのは控えます。青い空が戻った時にお礼を言いたい」と言った。高齢を押して企業の監視を続ける澤井さんは、公害の記録に一生を捧げるつもりである。環境の世紀…。澤井さんの人生をなぞりながら、四日市の今は、どうなっているのかをドキュメントする。

【トピックス】

【番組】

＜ネット単発番組「LIFE IS BEAUTIFUL」の第4弾を放送＞

番組名：「LIFE IS BEAUTIFUL 4 ～小さいいのちの詩～」

放送日時：2011年5月15日（日） 午後4時05分～5時20分

放送エリア：全国ネット放送

放送形態：VTR構成

ナビゲーター：ATSUSHI（EXILE）

（内容）

現代生活の中で伝わらなくなってしまった“いのちの本質”を伝えたい…。

生～死＝いのち ものすごく当たり前のことですが、社会が豊かになるにつれ、この2つのことがいつの間にか身近な存在ではなくなってしまいました。果たして何人の人が、この2つの瞬間を自分の目で捉え、大切に思ったことがあるのでしょうか？

もう一度“いのち”について考えてみたい。そして、21世紀を担う新しい命のために“今、私たちに何ができるのか”と考えるきっかけになれば、とそんなストレートなテーマで放送したパート1,2,3は想像以上に様々な反響を呼びました。パート4となる今回は、ガーナ共和国・アシャンティ族、そして日本の壮絶ないのちの物語をお送りします。

＜“本格的ミステリーロマンスに挑戦”4月の昼ドラ「霧に棲む悪魔」＞

昭和39年にスタートした、『昼の帯ドラマ』は、今作の「霧に棲む悪魔」で189作目となります。今回は、本格的ミステリーロマンスに挑みます。物語は、秘密のページをめくるように展開していきます。ヒロインの入山法子はテレビドラマ初主演、一人二役に挑戦するのも見所です。

番組名：「霧に棲む悪魔」

放送日時：2011年4月4日（月）～7月1日（金） （65回）

毎週月～金 午後1時30分～2時

放送エリア：全国ネット放送

放送形式：VTR構成

原案：『白衣の女』ウィルキー・コリンズ

脚 本：金谷祐子
出 演：龍村圭以・白い女（一人二役）・・・入山法子
北川弓月・・・姜暢雄
日浦晴香・・・京野ことみ
御田園陽一・・・戸次重幸
影山 仁・・・大沢樹生
蓮見依子・・・中田喜子
龍村玄洋・・・榎木孝明 ほか

(内 容)

霧の向こうで何が起こったのか。

謎に次ぐ謎！ 秘密に次ぐ秘密！

龍の眠る丘で起こるミステリーロマンス

世の中には自分と同じ顔の人間がいるという。そして、自分と同じ顔と出会った人間は死ぬと……。鏡を覗き込むようなその女との出会いが、人生を、運命を大きく狂わせていく。

父が亡くなり、莫大な資産を受け継いだ龍村圭以（入山法子）のもとに、一通の手紙が届けられる。そこには、まもなく式を挙げる圭以の婚約者は悪魔だと書かれていた。そして手紙の差出人は、病院の追手に怯える全身白い衣の不思議な女で、圭以とまるで同じ顔をしていた。

目の前の結婚は正しいものなのか？ 女は何者か？ なぜ現れたのか？ 女の隠し持つ秘密とは？ 白い女は圭以を救う救世主なのか、地獄に落とす悪魔なのか。

死を決意して分け入った森の奥、濃い霧が立ち込めるなかで遭遇した。謎の白い女を追ううち、圭以と出会い恋に落ちる貧しい青年・北川弓月（姜暢雄）。誰よりも妹・圭以を愛する一方で誰からも愛される圭以にコンプレックスを抱え、弓月に密かな想いを寄せる異父姉・晴香（京野ことみ）。財力と誠実さを併せ持つ実業家で圭以の婚約者・御田園陽一（戸次重幸）。御田園に寄り添う社交界の華・蓮見依子（中田喜子）。奇行癖のせいで相続権を奪われ、邸の開かずの間に閉じこもる圭以の伯父・玄洋（榎木孝明）。御田園の弁護士、龍村の弁護士、龍の眠る丘で龍村の営む大牧場の使用人頭、一族が創業した会社の社長……。蠢く人々と謎の白い女。やがて圭以は一族の主の責任として、愛する弓月ではなく裕福な婚約者との結婚を選ぼうとする――。

白い女を追ううちに次第に明らかになる謎…。圭以と弓月の恋の行方は…。

【イベント】

タイトル：「スーパークラシックコンサート 15周年特別企画
第一生命スペシャル（第一生命保険（株）110周年記念）
クリストフ・エッセンバッハ指揮
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 with ラン・ラン」

開催日時：2011年10月16日（日） 15：00開演（予定）

会場：愛知県芸術劇場コンサートホール

主催：東海テレビ放送／サントリーホール

特別協賛：第一生命保険株式会社

協賛：ブラザー工業株式会社

後援：愛知県／オーストラリア大使館

入場料金：プラチナ席43,000円、S席39,000円、A席33,000円
B席27,000円、C席18,000円、D席12,000円

出演：指揮：クリストフ・エッセンバッハ
ピアノ：ラン・ラン
管弦楽：ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

曲目：リスト作曲：ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 ピアノ：ラン・ラン
モーツァルト作曲：交響曲 第34番
シューベルト作曲：交響曲 第7番 ロ短調D. 759「未完成」

（内 容）

2011年、年間を通じて地元視聴者のために世界で活躍する一流の名演奏家を招く、「スーパークラシックコンサート」が15周年を迎えます。今回その目玉企画として、世界最高峰のオーケストラ「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」を招致します。名古屋には実に10年ぶりの登場、しかも、クラシックファン待望の愛知県芸術劇場コンサートホールで初めての演奏披露となります。ウィーン・フィルは、1842年の創設以来、ワーグナー、マーラー、ブルックナーなど音楽史に燦然と輝く作曲家とともに歩んできた世界で最も由緒あるオーケストラの一つで、毎年全世界に生中継されるニューイヤーコンサートは世界最大の音楽イベントとして各国で大きく取り上げられています。

今回のツアーでは、2010年にワシントンDCが本拠のナショナル交響楽団とジョン・F・ケネディーセンターの音楽監督に就任したクリストフ・エッセンバッハが指揮します。そしてソリストは、北京オリンピックのオープニング演奏、上海万博親善大使な

ど、タイム誌で「世界で最も影響力のある100人」に選出されたピアニスト、ラン・ランです。彼を見出したのが、指揮者エッシェンバッハで、ウィーン・フィルと強力な師弟コンビとの組み合わせで、最高のパフォーマンスが期待できます。

タイトル : 「**ダイハツ クーザ 名古屋公演**」

開催期間 : 2011年11月23日(水)～2012年1月22日(日) 全83公演

会場 : 名古屋ビクトップ(ナゴヤドーム北)

主催 : 東海テレビ放送 中日新聞社 東海ラジオ放送 フジテレビジョン
サンデーフォークプロモーション テレビ静岡 NST 長野放送
富山テレビ 石川テレビ 福井テレビ

後援 : カナダ大使館 ケベック州政府在日事務所 ケベック州政府観光局

特別協賛 : ダイハツ工業

協力 : 日本航空

企画制作 : フジテレビジョン シルク・ドゥ・ソレイユ

入場料 : 全席指定

(平日) S S席12,000円 S席9,500円 A席6,000円

グループチケット(S S席4枚)40,000円

(土日祝) S S席13,000円 S席10,500円 A席7,000円

グループチケット(S S席4枚)44,000円

発売日 : 2011年5月28日(土)

(内 容)

シルク・ドゥ・ソレイユが贈る夢のスーパーサーカス第6弾(名古屋地区)「クーザ」は、2007年の誕生からわずか3年で、世界各地で300万人以上の人々を魅了しています。「クーザ」は、サーカスにおける2つの伝統的要素、すなわち“アクロバット”と“クラウン”を礎とする、シルク・ドゥ・ソレイユの原点に立ち返った作品です。人間による卓越した肉体表現、そしてその脆さが鮮やかに表現される一方で、ユーモアのセンスも巧みに盛り込まれています。

舞台は、自分の居場所を探し求める少年、イノセントが、トリックスターに誘導され、王様とその家来のクラウン、詐欺師など様々な人物に出会うことによって繰り広げられます。観る人すべてに驚きと感動を与え、希望を抱かせてくれる「クーザ」は、これまでのシルク・ドゥ・ソレイユの集大成であり、シルク・ドゥ・ソレイユの歴史を築く礎となる作品です。

<他地区>

東京公演	2011年2月2日(水)～5月8日(日)	全129公演
東京公演追加	2011年5月21日(土)～7月18日(月・祝)	全86公演
大阪公演	2011年8月4日(木)～10月10日(月・祝)	全95公演
名古屋公演	2011年11月23日(水・祝)～2012年1月22日(日)	全83公演
福岡公演	2012年2月9日(木)～4月1日(日)	全72公演
仙台公演	2012年4月19日(木)～6月3日(日)	全64公演

【地デジ関連】

いよいよ7月24日に地デジ完全移行となります。送出側の準備としては、瀬戸親局の他に、53の中継局・固定局(42中継局、11固定局)の整備を完了しました。これにより、東海3県における当社の電波による世帯カバー率は97.3%となりました。

常時告知スーパーの強化、アナログ放送視聴者に地デジ移行を促す為の「ムービングロゴ」の表示、番組、スポットを通じたPRなど、現状の取り組みを更に強化して、混乱なく地デジ完全移行が出来るように努めていきます。

また、地デジ普及キャンペーンとして、指定の番組をご覧いただくことでポイントがたまり、プレゼントに応募できる「地デジ祭り」を4月24日から7月24日まで開催します。